

はじめに

本フォント及びドキュメントファイルは Linux と Windows10 上での動作を目的に作成されており、他の環境でのご利用は保障できません。またご利用になった場合、不具合で不利益が発生したとしても、いかなる保障もいたしませんのでご注意ください。修正可能な不具合につきましては、連絡していただければ善処する所存です。個人環境で、十分なテストが行われているとは言えませんので不具合が発生する可能性があります。期待した表示が行われない場合はご了承ください。

フォント Ap 悉曇について

TrueTypeFont ApSiddham.ttf は、unicode の悉曇領域(U+11580-115FF)に悉曇文字を配置し、悉曇文字による梵字悉曇文を作成することを目的に作られました。Unicode 7.0 で導入され unicode 8.0 で文字が追加された悉曇文字に対応しております。従って、それ以前に作られた OS では正常に動作しない場合があります。

動作環境

Linux と Windows10 以外では正常に動作しない場合があります。
Windows 7 で使用される場合は LibreOffice 5.3.4 以降を使用してください。5.2.7 では正常に表示できません。Windows10 より古い Windows では正しく動作しない事があります。また、unicode 7.0/8.0 に対応していないアプリでは正常に表示できません。

使用可能な文字

摩多十二字・別摩多四字・体文三十三字・二字重字千八十九字・その他

フォントの組み込み方

ファイル管理ソフトで右クリックしてプレビューソフトを立ち上げ、そこからインストールが普通です。勿論、Windows の Fonts ディレクトリや ~/.fonts/、 ~/.local/share/fonts/、 /usr/share/fonts/ 等 OS が認識可能なフォント置き場に直接コピーしても結構です。期待通り Windows10 ではフォントファイルの上書きが出来るようになっています。

悉曇文字の入力方法

ありません。少なくとも私が知りうる限りインターネット上に、unicode 悉曇文字を入力可能な手段は見つかりませんでした。そこで Ubuntu・Debian 等で動作可能なスクリーンキーボードソフト Onboard の悉曇文字入力用レイアウトを作成しました。これは別途配布予定です。また、ラテン表記サンスクリット文章を悉曇文字列に変換するソフトを作成しました。こちらは要望があれば公開するかもしれません。

最後に

ApSiddham (Ap 悉曇) は、FontForge を BodhiLinux と KonaLinux 4.0 Pro で使用し作成されました。またテストに natureOS 3.0 を利用しました。その作者と協力者及び、Windows での「unofficial fontforge-cygwin」の作者さんに感謝します。なお、このフォントファイルには、特殊なグリフは含まれておりませんのでフリーフォントとして扱っていただけます。

unicode 7.0 で悉曇文字が unicode に登録されたのですが、それを表示できるフォントはごく僅か。さらに梵字悉曇として使用できるフォントは皆無でした。デーヴァナーガリーの軛から外れその恩恵も制約も無くなったため、その内部は大変な状態です。過去のインドの技術者の苦勞を思い知らされたような気がします。でも「面倒だからシステムの方を変えました」ってどうなのさ？

参考文献及び HP

朱鷺書房刊・児玉義隆氏著「梵字必携」

岩波書店刊・中村元氏紀野一義氏訳註「般若心経 金剛般若経」

「まんどろーかのサンスクリット・ページ」

「貝葉に見る般若心経の秘密」

「ぷらっとさんぽ」平成の『般若心経』-摩訶般若波羅密多心経

「e 国宝」梵本心経および尊勝陀羅尼

「大正新脩大藏経テキストデータベース」

「CBETA 中華電子佛典協會」

「Seven Mile Beach File」メモ 361

「ta meta ta phonetika」

その他 Devanagari Font 公開 HP、仏教・密教系 HP、unicode 関連 HP

以上

配布元 「電腦垂空間」<http://www008.upp.so-net.ne.jp/ajari/>

T.Nakagawa